

安心の走りを提供【新設計ボディ&シャシー】

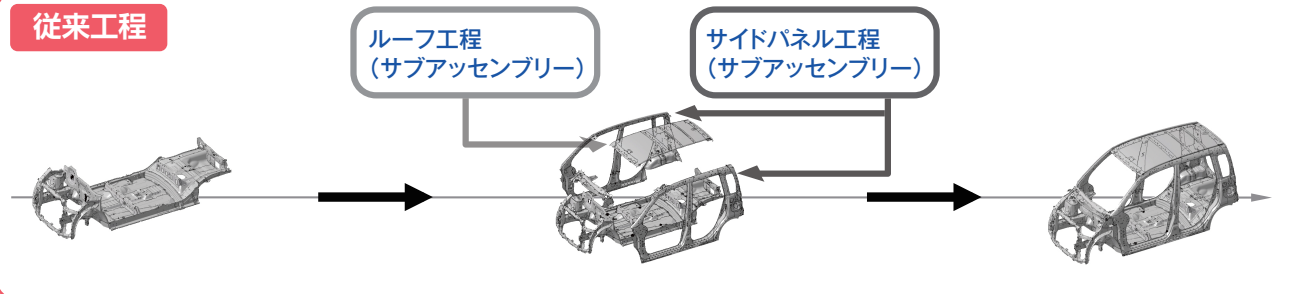
軽量・高効率を徹底追求した 新設計ボディ

Honda の新たな軽自動車シリーズにふさわしい軽く強固なボディを実現しました。製造工程から見直すことで骨格そのものを高効率な構造としたうえ、テーラードブランクやホットスタンプ型内トリムという製造技術を用いることで効率的に高強度化を行いました。ホワイトボディ重量は、従来技術で製造した場合に比べ約10%の軽量化を達成しています。

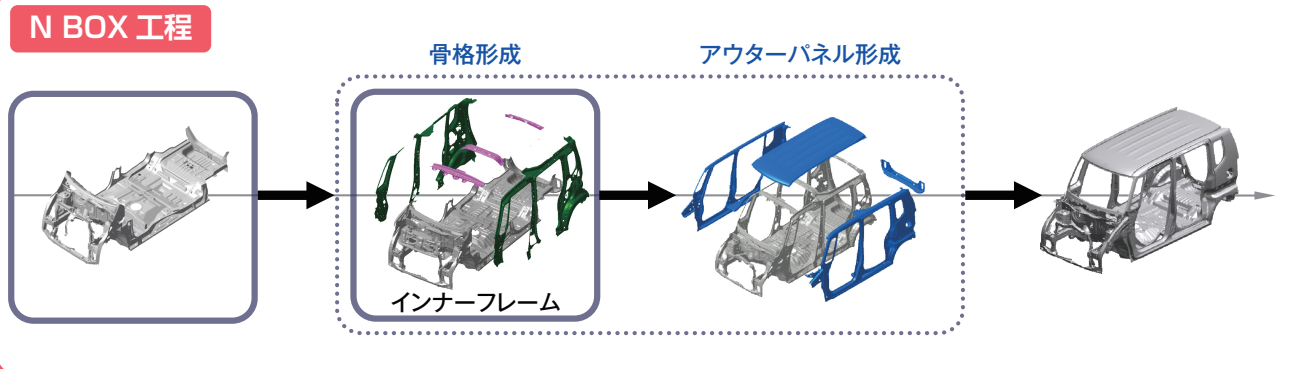
インナーフレームを採用した高効率継ぎ手骨格

従来は、ルーフとサイドパネルをそれぞれサブアッセンブリーしておき、それらをフロアと結合する手法をとってきました。サブアッセンブリーによって結合部が袋状の閉断面となることがあるため、ボルトで結合しガセットで補強するなどの工夫が必要でしたが、新工程では、ルーフとサイドパネルのインナーフレームのみを先にフロアと結合したあと、アウトーパーネルを張り付けます。つまり、骨を強固に組み立ててからパネルで覆います。これまでボルトで結合していた主要フレームをスポット溶接で直接結合することができるため、より強固な継ぎ手構造となるだけでなく、ボルトやガセットが不要となる分、軽量化にも貢献します。

従来工程



N BOX 工程



継ぎ手変更箇所

